

篠原小学校 コミュニティ・スクール



12月25日(木)

篠原小学校コミュニティ・スクール第3回学校運営協議会が開かれました。

☆福祉教育を軸にした地域連携を

福祉教育を軸に、地域に学び、まとめ、発表するという取組ができないかを話し合いました。草津市の視察では、学んだあとに地域の方への発表や提言があるのを見せてもらった。発表という出口を設定することで、取り組む姿勢が変わるのではないか、という話が進み。まずは、総合的な学習の時間を福祉教育中心にまとめてみてはどうかという提案がされました。

☆しのっこ応援ボランティア

2学期は、8回にわたって、3名から11名の協力を得て、しのっこ応援ボランティアによる活動として、保護者との運動場草引き、6年生ミシンボボランティア、6年生千羽鶴ボランティア、運動場環境整備作業、大掃除での学校ピカピカボランティアが実施できました。

委員からは、「掃除にしても子どもの手に余るところはたくさんある。備品をそろえてはどうか。」「篠原小学校に孫もないものにとっては、学校の敷居はまだ高い。しのっこ応援ボランティアも何をするのかを具体的にお知らせすると、来やすいのではないか。」「これなら私もできそう」と思ってもらえることが大切。」

応援団時代のベストを活用してはどうかという提案に全員賛同。誰が来ているのかが目で見えてわかり、「おばちゃん何してんの？」から、「おばちゃん今日もありがとう。」に代わるのではないか。